

ミクロの世界をのぞこう② 動物の細胞の観察

目的…

準備 顕微鏡 スライドガラス カバーガラス ピンセット つまようじ ろ紙 スポイト
酢酸オルセイン（酢酸カーミン液） ブタの脂身

操作 ① 口を良くすすいでから、ほおの内側をつまようじの頭で軽くこする。

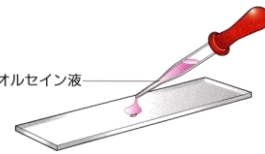


ほおの内側の粘膜を
ようじの柄の部分
で軽くこすりとり、
スライドガラスに
こすりつける。

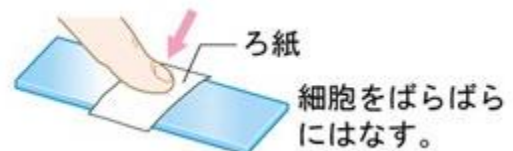
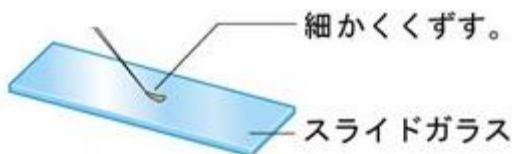
② つまようじの頭についたものをスライドガラスに軽くこすりつけ、
酢酸オルセイン液を1滴落としてカバーガラスをかける。

③ 顕微鏡で100倍と400倍の順で観察し、スケッチする。

酢酸オルセイン液



④ ブタの脂身はつまようじの先に少し取って、スライドガラスに軽くこすりつけ、細かくくずす。
カバーガラスをかけて、ろ紙をのせて指で押しつぶし、100倍程度で観察し、スケッチする。



観察結果

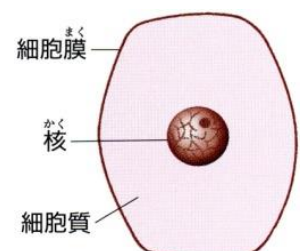
ヒトのほおの内側の細胞

ブタの脂身

皮ふや骨、爪や髪の毛など、細胞でできているように思えない部分が身体の中にはたくさんあります。ヒトの身体を作る細胞の種類は約200種類、その数は60兆個ともいわれています。（体重による増減はあります）同じようなはたらきをする細胞が集まって「組織」を作り、その組織が集まって「器官」を作っています。私たちのからだは精子と卵という2つの生殖細胞が合体してできた「受精卵」が繰り返し分裂してできているのです。受精からいったい何回細胞分裂するのかな？単純計算してみましょう！

■動物細胞の構造をまとめましょう。

- いっぱんに、動物の細胞も（ ）という薄い膜に包まれている。
- また、細胞の内部にも球形の（ ）が1個ある。
- 核の周りには（ ）とよばれるものがある。



2年 組 番 氏名